

地域母子保健の向上を目指す シンポジウム

地域医療の充実と産み育て

I 部

産婦人科医師の
トーク&トーク

一般社団法人 日本助産所会 嘱託医師

中村 薫

&

長門総合病院 産婦人科部長

中島 健吾

II 部

開業助産師の
トーク&トーク

助産院彩の風 院長

小柳 布佐

&

出張さんばステーション日野春
松浦助産院 助産師

松浦 照子

III 部

ディスカッション

お申込はコチラ



参加費

医療従事者 4,000 円

一般 2,000 円

基調講演

人口減少時代に
立ち向かう

江角 悠太

志摩市民病院
地域医療医務監



2024

9/28 土

13:00 ~ 17:00

Zoom

アーカイブ配信あり

主催 一般社団法人 日本助産所会

地域母子保健の向上を目指す シンポジウム 地域医療の充実と産み育て

基調講演

人口減少時代に立ち向かう



志摩市民病院
地域医療医務監

えすみ ゆうた

江角 悠太

東京都出身。2009年三重大学医学部卒業。
沖縄県中部徳洲会病院での初期研修を修了後、2011年より後期研修医として三重大学家庭医療総合診療科で研修。
2014年ピースボート船医として地球一周を経験し、
2014年12月より国民健康保険 志摩市民病院に着任、2016年より同病院院長に就任。
2019年に地域包括ケア病棟協会理事就任。2020年地方創生医師団（TAO医師団）の団長を務める。
2022年 日本地域医療学会理事、三重県病院協会理事就任。
2023年 志摩市民病院 地域医療医務監となる。
2024年 のろ志(Mie Comrade Dr.s)代表を務める。

一般社団法人 日本助産所会 嘱託医師

なかむら かおる

中村 薫

産科医療施設過疎地域をどうするか



沖縄県那覇市出身。
山口大学医学部卒業。産婦人科入局。
2001年なかむら産家医院開院（北九州市）
自然なお産に取り組み、多数の助産院の嘱託医を受ける。2019年同医院閉院。
2019年福岡県新水巻病院周産期センター勤務 副センター長に就任。
2020年退職し、沖縄県の病院に勤務。
現在は、勤務医として働き、若手医師の育成に取り組んでいる。

長門総合病院
産婦人科部長

なかしま けんご

中島 健吾



地域医療としての総合病院産婦人科医の役割

人口3万人のまち（山口県長門市）の総合病院の産婦人科部長として勤務。年間分娩数は100～130例程度だが、地域医療としての役割と限界を医療資源と相談し、常に安全に心がけて分娩に向き合っている。専門は婦人科手術で骨盤臓器脱手術や低侵襲な腹腔鏡手術を日々追求している。

助産院彩の風 院長

こやなぎ ふさ

小柳 布佐

そこに子どもが居るといふこと

大阪府寝屋川市生まれ。
1973年助産師として大津赤十字病院や静岡赤十字病院等の医療機関等に従事。聖隷クリストファー大学特任講師、赤十字救急指導員、幼児安全指導員等に携わり、認定心理士取得。1980年からボーイスカウト安全管理に関わり、子どもの社会教育活動を推進。1988年から明星大学教育心理学科。1992年から山梨学院大学大学院にて母子保健法エンゼルプラン構想の研究に関わる。
2007年静岡県伊豆市に桃太郎助産院開設。
2023年助産院彩の風併設 現在に至る。



出張さんばステーション日野春

松浦助産院 助産師

まつうら てるこ

松浦 照子



地域の助産師と医師の新しくユニークな連携

岡山県倉敷市生まれ。
看護師・看護教員を経て36歳で助産師になる。
結婚を機に埼玉に移住。平成16年埼玉にて出張専門助産師として開業。チームでのお産の面白さを発見。
平成27年に北杜市に移住。山梨市の嘱託医中村雄二Dr.との出会いで、現在の出張さんばステーションの形態が始まる。
令和2年～御代田町にある産院音々（業務委託請負制導入）の設立運営にかかわり、登録助産師として後輩の指導にあたっている。

総合ファシリテーター

しぶや たかこ

澁谷 貴子

一般社団法人 日本助産所会 代表理事

しぶや助産院 院長助産師



看護師・助産師（アドバンス助産師）

長崎大学医学部附属看護助産学校助産婦科卒業。産業医科大学病院（分娩部・NICU）に16年間勤務後 2003年12月 福岡県遠賀郡岡垣町に『しぶや助産院』を開院。2020年12月 一般社団法人 日本助産所会 代表理事に就任。自然分娩・母乳育児支援・産後ケアを中心に 地域の母子保健向上に尽力中。

主催 一般社団法人 日本助産所会